

## 第2 分科会

### 「進路指導とPTA」

発表県 埼玉県

発表校 埼玉県立松山高等学校

発表者 PTA会長 水村 誠

発表テーマ 「～松山高校における進路指導について～」

#### 1 はじめに

松山高校がある東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置する人口約9万人の市である。毎年11月に開催される日本スリーデーマーチ（令和元年、2年は中止）は、世界2位のスケールを誇るアジア最大の国際ウォーキング大会で、世界各国から8万人を超えるウォーカーが訪れる。また、名物はやきとりだが、東松山市のやきとりは鶏肉ではなく、豚肉のカシラ肉を炭火で焼き、ピリ辛のみそだれをつけて食べる独自のスタイルである。市内には数多くのやきとり店があり、遠方からも観光客が訪れる。

松山高校は、東武東上線東松山駅東口から徒歩約15分のところに位置している。周囲には半径500m以内に松山第一小学校や松山中学校、松山幼稚園等の教育機関が隣接しており、東松山市のいわば文教地区と言える場所となっている。

#### 2 学校概要

(1) 創立 大正12年（今年で98年目）

(2) 学級数 普通科

1学年7クラス（280名定員）

うち1クラスは特進クラス

・1年生は8クラス少人数学級

編制

理数科

1学年1クラス（40名定員）

(3) 生徒数 951名（5月1日現在）

(4) 教職員数 81名（事務職員等を含む。）

(5) 国、県からの指定事業

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

未来を拓く「学び」プロジェクト研究開発校

A.Iによる学びの改革プロジェクト指定校



記念館（左）と校舎

#### 3 松山高校の教育活動

松山高校は建学の精神として「文武不岐」つまり、勉学にも部活動にも頑張る生徒を育成することを掲げ、創立以来、高い見識と幅広い教養、礼節を備えた品格あるリーダーの育成を目指し、多くの優れた人材を世に輩出してきた。

(1) 普通科

国公立大学への進学希望が多いため、1・2学年では国語・英語・数学の学習に重点を置き、3学年では豊富な選択科目を置いて進路希望に応じた学習を支援している。きめ細かな学習指導を実現するため、1学年では7学級募集のところを1クラス34人の少人数学級編制での8学級展開としている。

また、平成21年度から特進クラスを1クラス設置（特進クラスは40名編制）し、国公立大学の進路実現に向けて、夏期休業中の

「勉強合宿」※をはじめとするハイレベルな学習指導・進路指導を展開している。

#### (2) 理数科

理科・数学に関心・意欲を持つ生徒のため、科学的な思考力や想像力、探究心を養う。理数系大学への進学希望実現に向けて、夏期休業中の「勉強合宿」※を実施している。また、近隣のSSH校や県内の理数科設置校と連携して課題研究を英語で発表するなど、生徒の学習意欲や探究心をさらに高める取組を行っている。

#### (3) スーパーサイエンスハイスクール

平成24年度から1期目5年間、平成29年度から2期目5年間、併せて10年間、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている。科学技術分野で活躍する人材育成のため、大学や研究機関との連携の下、最先端の科学技術に触れ、探究活動や研究発表会を活発に行っている。

平成28年度からは隔年でSSH海外研修※を開始し、15名の生徒が8日間オーストラリアでホームステイをしながら国立公園でのフィールドワーク、語学研修等に取り組んでいる。

#### (4) 学習活動

進学補習「松高塾」として、早朝・放課後や長期休業中に年間100講座を超える補習講座を実施している。このような計画的・組織的な学習をとおして、各教科とも基礎力から大学合格への実践力の養成に積極的に取り組んでいる。さらに、2学期制の実施や長期休業期間の短縮に取り組むとともに、隔週土曜授業や7時間授業の導入によって、授業時間を確保し、生徒の一層の学力向上に取り組んでいる。

#### (5) 学校行事

松山高校では様々な学校行事を行っている。入学当初の放課後に校歌・応援歌練習※が行われ、新入生は応援団の上級生から3日

間みっちりと松山高校の校歌・応援歌を叩き込まれる。そして、5月の新入生歓迎球技大会※や9月の文化祭（令和2年度はオンラインで実施）、10月の体育祭※、11月の比企一周駅伝競走大会※、3月のスポーツ大会など、一連の行事をとおして生徒たちはたくましく成長していく。

#### (6) 部活動

運動部が16部、文化部が13部ある。約60%の生徒が運動部に、約40%が文化部に所属して活動し、充実した設備と指導のもとで大きな成果を上げている。3年生になっても約9割の生徒が部活動を続けている。令和元年度は関東大会・全国大会に7つの部活動が出場している。

### 4 松山高校の進路指導～「行ける」大学ではなく、「行きたい」大学へ～

松山高校の進路指導は「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させることを重点目標としている。

#### (1) 進路指導の流れ（3年間）

1年生では、入学直後に5教科の学習法を学ぶガイダンスを実施し、高校での学習へのモチベーションを上げている。6月には文系理系の類型選択に向けた適性診断を実施、その後、11月には学部分野別説明会を実施する。学部分野別説明会では、大学の先生に講師として来校していただき、大学でどのような研究が行われているのか直接生徒に説明していただき、進路選択の一助としている。12月には大学見学会を実施する。これは生徒の目標とする大学を選択させるためであり、見学でお世話になる大学は、国公立大学や難関私立大学である。

2年生では、10月に大学教授による出張講義を実施する。この出張講義では、大学で行っている研究について前年度より深く理解

することを目標としている。その他、夏休みにはオープンキャンパスへの参加を課題として課し、冬休みには「第一志望大学への『志望宣言』を書く」という課題を課して、受験への意識向上を図っている。

3年生では、7月と11月に大学別説明会を実施する。生徒が希望する大学から講師を招いてのガイダンスが行われる。また、進路指導主事による複数回のガイダンスも開催され、大学別説明会と合わせて受験準備の道しるべとなっている。

### (2) 外部リソースの利用

1・2年生で年3～5回、3年生で10回以上の模擬試験が学校内外を会場として実施され、進学指導の基礎データとして活用されている。また、2・3年生ではICT教材「スタディサプリ」「スタディサプリ ENGLISH」を契約し、自宅で動画視聴による自主学習が進められる環境が整えられ、学力向上に効果を発揮している。

### (3) 面接指導・小論文指導

3年生の推薦型選抜や総合型選抜の指導では、先輩たちが残してくれた受験報告書を活用して全ての先生方が担当する個別の面接指導を、また、小論文指導でも分野ごとに専門科目の先生方による個別の添削指導を受けることができる。今年は新型コロナウイルス感染症流行のためリモート面接試験も多くなっているが、生徒の状況に応じたより緻密な指導に取り組んでいる。

## 5 進路指導とPTA

現在、松山高校PTAは「保護者にとって必要な情報の発信に関して、学校側の積極的な活動に協力し、より多くの保護者の参加を促すことにより、間接的に生徒の『行ける』大学ではなく、『行きたい』大学への進路実現に寄与する」方針で活動している。そして、活動の際は松山高校の進路指導がさらに充実するように、PTAとして集約

した意見を学校へ伝えて、学校とともに生徒の進路実現に寄与するよう努めている。

進路指導の取組にPTAが大きく関与する行事は2つである。6月に行われる保護者進路指導説明会と2月に行われる進路保護者研修会である。この2つの取組は、いずれも保護者からの強い要望をうけて開始されたものである。

### (1) 保護者進路指導説明会

保護者進路指導説明会は、全学年の保護者を対象として、学年ごとに実施している。それぞれの学年の保護者として注意すべき事項を伝えることを目的としており、進路指導主事の説明と卒業生の体験談をもとにした説明を行っている。

進路指導主事からは、前年度の入試結果の報告のほか、今年度の進路指導計画の説明、大学入試の基礎知識、今後の高校生活における家庭での準備・心構え、三者面談に向けて知りたいこと等の説明がなされる。

卒業生の体験談は、実際に松山高校で過ごした高校生活のなかで、受験する大学を決定するまでの過程や、合格するまでの道のり等であり、保護者として共感できる内容である。また、各家庭の中で大学受験への不安、子供の家庭での様子への悩みや焦りを抱える保護者にとって今後の高校生活における家庭での準備・心構え等の説明は毎年好評である。

保護者進路指導説明会は、かつては保護者の参加者が少なく、全学年の保護者を一堂に集めての開催であった。しかしながら、参加者を増加させるための工夫を行うことにより、保護者の参加率は約40%から約60%まで増加し、平成22年には3年生の部と1・2年生の部の二部構成になり、令和元年度からは学年ごとの三部構成になった。

### (2) 進路保護者研修会

進路保護者研修会は、1・2年生の保護者を対象として、進級後4月からのスケジュー

ルを知り、進路に関する意識を高めるとともに計画的に取り組むことを目的として実施しており、予備校関係者等の外部講師による講演と進路指導主事による説明が行われる。

外部講師による講演では大学入試に向けて留意しておくべきことなど、専門的な視点からのアドバイスを聞くことができ、進路希望の実現に向けて、多様化する入試情報や受験への心構え及びその対策について、今後のスケジュールに沿った形で説明を受けることができる。

進路指導主事からは3年生の大学受験状況と1・2年生の今後の指導スケジュールについての説明がある。

進路保護者研修会も、かつては参加者が少なかったが、保護者進路指導説明会と同様に工夫をすることで、約40%だった保護者参加率は毎年少しづつ増加し、現在では約60%になっている。

### (3) その他

かつては、PTA広報誌に卒業生による大学入試に関する座談会を掲載する取組や、学校とPTA進路指導委員の懇談会を開いて進路指導に関する要望を直接学校へ伝える取組、保護者による大学見学会等も行っていた。

しかしながら、以前に比べて共働きの保護者が増加するなど、近年では保護者の多忙化が進み、PTA行事への参加が難しい保護者が増加する傾向にある。

その状況を踏まえ、保護者の進路指導に関する要望を学校へ伝えることを目的とした懇談会については取りやめ、その代わりに行事におけるアンケートで保護者の進路指導に関する要望を学校へ届けることとし、卒業生による座談会については保護者進路指導説明会における卒業生の体験談へ、保護者の大学見学会は生徒による大学見学会やオープンキャンパスへの参加等へリニューアルしてきた。行事内容の充実、行事の土曜日開催、実

施回数の精選等、日頃からの不斷の見直しにより、保護者の行事への参加率を上げることができた。

今後もPTAとして学校側へ建設的な要望を届ける等、松山高校の進路指導がさらに効果的なものとなるよう、積極的に連携していきたい。

## 6 おわりに

6月にPTA会長となってから、本部役員をはじめとする多くの保護者の協力の下で活動していました。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の影響のため、今まで例年どおりのPTA活動はできていません。そのような状況の中にあっても、「チーム松高」として、保護者と先生方が協力し合いながら、子供たちが充実した高校生活を送り、松山高校を巣立つときには「行ける」大学ではなく「行きたい」大学への進路実現ができるよう、今後とも精一杯バックアップしていくと考えています。

---

※ 新型コロナウイルス感染症流行のため、令和2年度は中止。